

## 1 社会・治安情勢

- (1) 国家の統治及び社会秩序を不安定にするような暴動，テロ，大規模なデモなどの発生は確認されていない。殺人，強盗，麻薬の密輸，人身売買事案など重大凶悪事件の発生や検挙は当地マスコミ媒体などにより日々報道されている。在留邦人や邦人旅行者からは，スリや置引き，空き巣，忍込みなどの窃盗を中心とした犯罪被害が当館に報告されており，一般治安状況については十分な注意を要する。
- (2) 1月，2月には越中間の紛争記念日に合わせて，ハノイ市やホーチミン市などにおいて小規模なデモや集会が行われており，今後も対中国情勢が越国内に与える影響について注視していく必要がある。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事からハノイ市における犯罪発生状況，検挙状況等を抜粋したもの。（平成29年1月～2月実績）

### 【刑法犯関係】

- ア 刑法犯発生件数：699件
- イ 刑法犯検挙件数：563件
- ウ 刑法犯検挙人員：884人

### 【薬物犯罪関係】

- ア 薬物犯罪検挙件数：543件
- イ 薬物犯罪検挙人員：645人

### 【交通事故関係】

- ア 事故発生件数：220件
- イ 事故死亡者数：83人
- ウ 事故負傷者数：177人

- (2) 邦人被害事案

- ア 1月下旬，ハノイ市タイホー区において，在留邦人が地元マーケットで買い物中に背負っていたバッグを刃物で切られ，バッグ内から財布やスマートフォンなどを盗まれる窃盗（スリ）被害が発生している。
- イ 2月上旬，ハノイ市内所在の外資系銀行に口座を保有する邦人数名が，ベトナム国外のATM機で不正に現金を引き出される被害が発生している。外資系銀行に確認した結果，当地ATM機を使用した際，カード情報や暗証番号を窃取された可能性が高いとの申し立てであったことから，ATM機の使用には十分な注意が必要であると思料される。
- ウ 2月下旬，ハノイ市内旧市街地において，所持していたバッグから財布を盗まれる窃盗（スリ）被害が発生している。
- エ 3月中旬，ハノイ市内に居住する邦人が，オンラインショッピングやベトナム

国内の店舗などで、不正にクレジットカードを利用される被害が発生している。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 保険省の発表では、1月26日から2月1日までのテト（旧正月）期間中、ベトナム全国の病院が受け入れた救急患者数は、18万人であり、殴り合いにより負傷し入院した患者数は4,474人、けんかが原因で入院した患者のうち20人が死亡した。けんかの原因は飲酒に関わるケースが最も多く550件で、全体の12%を占めた。

イ 公安省交通警察局の統計によると、1月26日から2月2日までのテト（旧正月）期間中、ベトナム全国で発生した交通事故件数は368件（前年同期比+29.5%）で、死者数は203人（前年同期比+11.5%）、負傷者は417人（前年同期比+48.0%）であった。また、7連休中に全国の交通警察が検挙した道路交通法違反件数は、1万7,636件、押収した自動車は184台、バイクが3,782台で、免許停止件数は783件となっている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生については認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

なお、当地報道によればベトナム人が被害となる誘拐・脅迫事件は発生している。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。

なお、当地報道によれば当地報道によれば他国の企業に対するストライキなどの労使紛争は発生している。